

単元名

大地のつくりと変化 (啓林館『わくわく理科6』)

本時の目標

土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくり方やでき方について、より妥当な考え方をつくりだし、表現することができる。 [B生命・地球(4)イ]

読解力向上プランVer. 2における指導のポイント

⑥既存の知識と習得した知識を活用して論理的に説明させる。


	学習活動	指導上の工夫
導入	○前時の振り返り：水のはたらきによる地層のでき方について振り返る。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○火山灰の層を含む地層の写真を見て、気付いたことを発言する。 ○火山灰の地層がなぜここにあるのかを考える。 ☆火山灰にはどんな特徴があるのかを考え、グループで予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火山灰の層を含む地層の写真を掲示して、火山灰の層の特徴に気付かせる。 ・火山灰が降るようすの写真を掲示し、火山灰が周囲に広がるイメージをもたせやすくする。 ・水のはたらきによる地層のでき方と比較させながら、火山灰の地層のでき方を手立てに、火山灰の特徴を考えられるようにする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○予想したことを全体で共有する。 ○次時で、予想したことを確かめる方法について考えることを伝える。 	


☆展開例☆

<復習>
水のはたらきによる地層のでき方

- ・つぶの大きさによって分かれてたい積する
- ・たい積がくり返されて地層ができる

火山灰が降るようす





火山灰には、どんな特ちょうがあるだろう。

A 水のはたらきによってできた地層の写真

B 火山灰の層がはさまった地層の写真

☆対話例☆

- C 1: Bの地層は、白い部分があるよ。どうして白いのだろう。
- C 2: 地層は粒の大きさによって分かれるから、もしかしたら、他の層より細かいつぶなのかな。
- C 3: 水のはたらきによる地層ではないので、つぶは丸くないんじゃないかな。
- C 1: つぶの大きさや形をけんび鏡で調べてみたいな。



◇実践のポイント◇

第6学年の理科では、主に「より妥当な考えをつくりだす」といった問題解決の力の育成を目指します。「より妥当な考えをつくりだす」とは、自分が既にもっている考えを検討し、より科学的なものに変容させることです。

本授業では、既習事項で培った知識を活用し、新たな問題解決に向けて予想を立てる活動を行います。

◇活用できる学習場面◇

予想や仮説を設定する際、自然の事物・現象と既習の内容や生活経験とを関係付けて考えます。既習事項の復習をしたり、手立てとなる資料等を用いたりすることで、既習事項と関係付けて考えやすくなります。